



第3回テーマ できるだけ少ないレイヤー数でトーンワークしたい

絵を描く トーンワーク エフェクト 背景・小物 素材 アシスタント ソフト&ハード

EX Pro Debut

質問

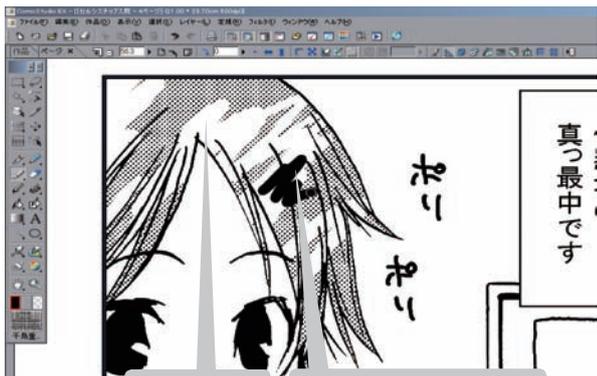
前回(第2回)で教わった方法なんですけど、一度消しちゃうと同じトーンを貼り直しできないじゃないですか。使えね～



アドバイス

前回解説した「不透明度」を調整する方法の発展です。
[ラスターレイヤー グレー (8bit)] を利用すると、「不透明度」が違うトーンを、1枚のレイヤー上で作業することができます。
(※「種類」「線数」が同じ場合のみ)

前回の方法で「不透明度」を調整しても、消しゴムツールで消すと…



[消しゴム] ツールで消して…

[マジック] ツールで描くと、トーンではなく真っ黒になります。

ここで解説



[スポイト] ツールはこれですが、

[マジック] ツールを選んでおきます。

なんで?



[ペン] [鉛筆] [マジック] [塗りつぶし] など描画系のツールを使っているときに「alt」キーを押すと押してる間ば[スポイト]ツールになるの!!



たとえばこんな感じにトーンの貼り直しができせんっ!

ふははははっ

なんのために「スポイト」ツールがあると思っているのかね!?!
ちび子くん

えええええ〜!?



そう!!

[スポイト] ツールで色を拾えば同じトーンが貼れるのでし!!



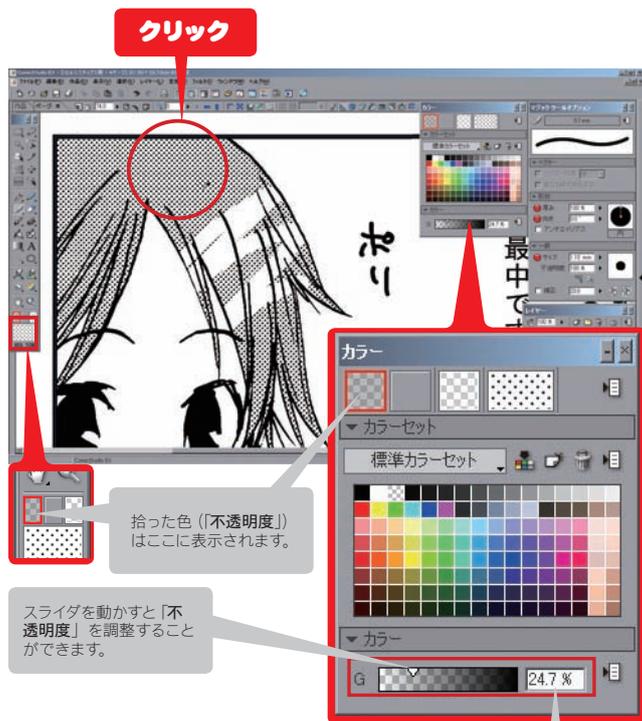
1. スポイトツールでトーンを拾え

① [スポイト] ツールを選択します。



※マンガ：廣瀬みさこ

② 「alt」キーを押しながらトーンの上をクリックして色(「不透明度」)を拾います。



クリック

拾った色(「不透明度」)はここに表示されます。

スライダを動かすと「不透明度」を調整することができます。

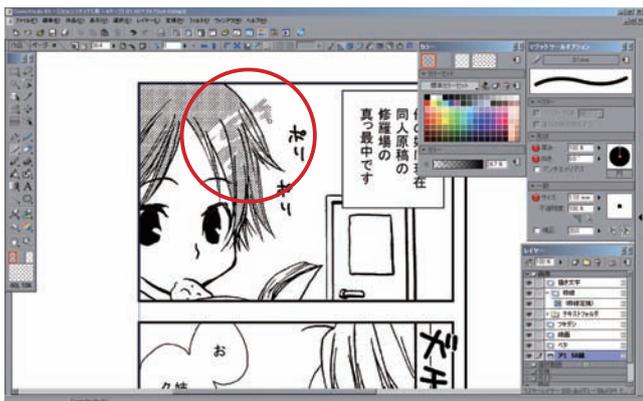
[カラー]パレット



“見た目の好み”はつまり「不透明度」= 24.7%だったということがわかります。ここで数値を書き換えて「不透明度」を設定することもできます。



③ 拾った色で塗ると、トーンが貼れます。

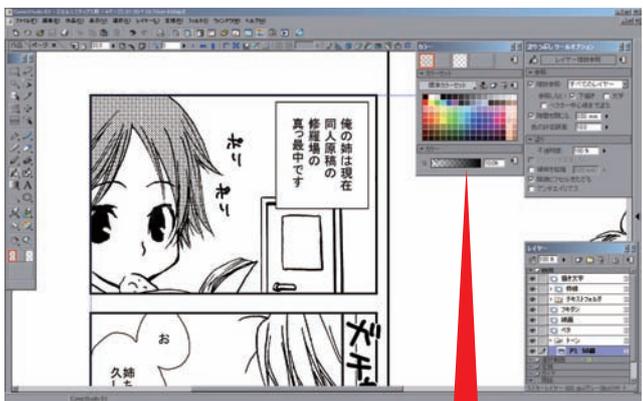


[マジック] でぬりぬり 

2. 「濃度」は「カラー」で調整せよ!!

「不透明度」を設定することで、1枚の[ラスターレイヤー グレー (8bit)] 上に、違った色のトーンを貼ることができます。

① 「不透明度」の違うトーンを貼るときは、「カラー」で色を設定します。

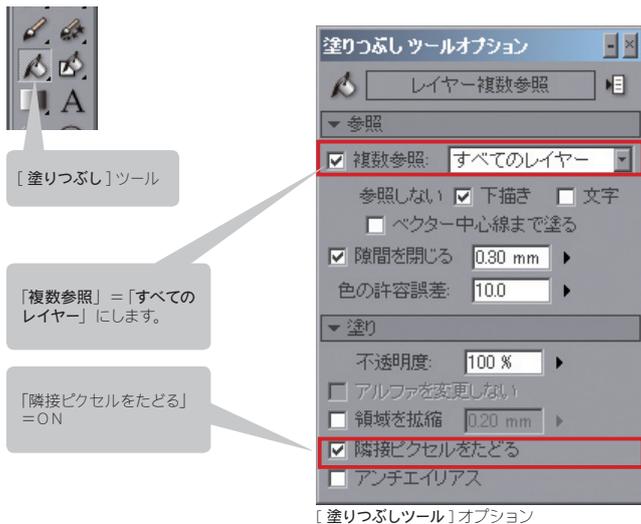


まず、「不透明度」= 10.0%にしました。

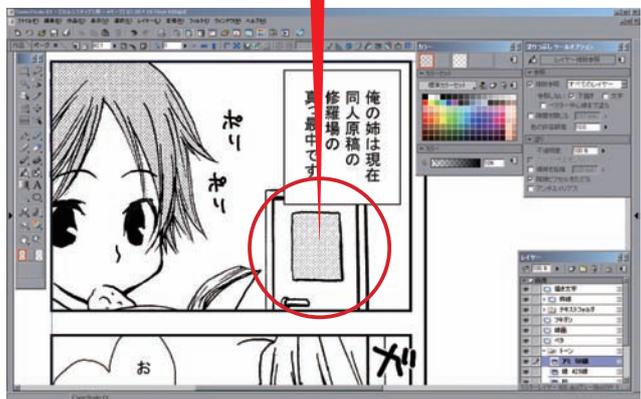


② トーンを貼ります。

■方法1 「塗りつぶし」ツールを使います。



クリック



[塗りつぶし]を使うとなんかしんないけど 他のところにもどばーっとトーンが貼れてしまいますっ 

[塗りつぶしオプション] の設定を間違えているでし オプション設定は大事でし! 次の機会にじ〜つくり解説するでし 

■方法2 「閉領域フィル」ツールを使います。 **NEW**

「カラー」 = 45.0%に変更しました。



[閉領域フィル]ツール

オススメは「なげなわ」モードです。

「複数参照」=「F」にします。

「対象色」=「透明部分のみ描画」にします。

閉領域フィルツールオプション

トーンを貼るところをぐるっと囲むようにドラッグします。

囲んだ範囲で、線画の閉じているところにトーンが貼れます。

ペンツールに持ち替えて、[透明]で不要なところを消します。

[ペン]ツール

「ペン」ツールで消すと、「入り」「抜き」が使えるので、髪の毛などの表現が簡単です。

ペンツールオプション

ドラッグ

普通に髪の毛を描くようにして消します。

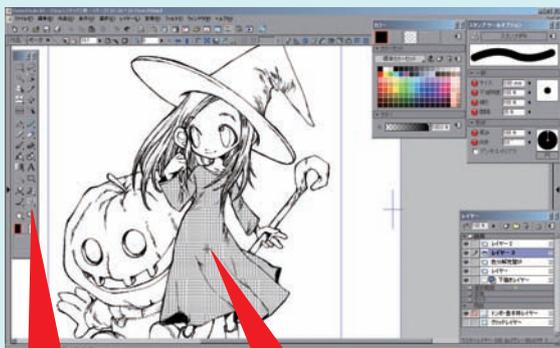
ここで解説 - 1

[ペン] ツールで髪の毛を描くようにしてトーンを貼ると、ランダムな感じが簡単に表現できます。

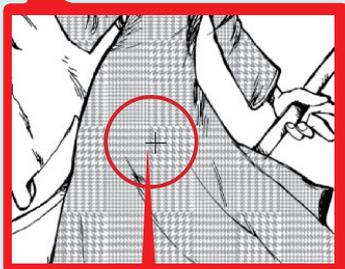
ここで解説 - 2



第2回で解説したような、“見た目の色”で調整した柄トーンを貼り足すときは [スタンプ] ツールを利用します。



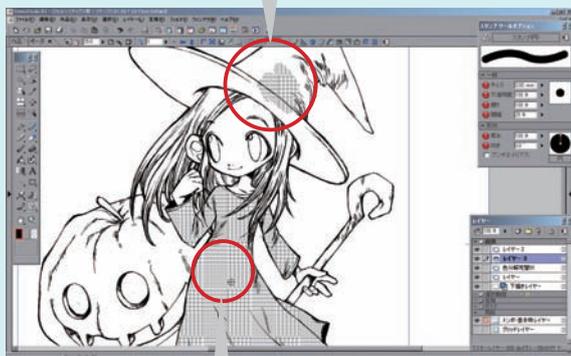
[スタンプ] ツール



[alt] キーを押しながらクリック

これでこのトーンの色を拾ったことになります。

トーンを貼るところを塗ります。



このポイントのトーンを拾いながら塗ってます、というマークです。

ここで解説 - 3 ショートカットでトーンワーク



[スポイト] で拾って“バケツ”で塗る。
[スポイト] で拾って“投げなわ”で塗る
[スポイト] で拾ってマジックで塗る
はみ出したら [消しゴム] で消す

…この手順でショートカットを駆使して作業することに慣れれば、トーンワークの効率がぐんとアップします。

■ トーンを消す

- … 「E」 キーで [消しゴム] ツールを選択
- … 「6」 キーで [透明] を選択

■ トーンを貼る

… 「P」 キーを3回押して [マジック] ツールを選択

- … 「4」 キーで [黒] を選択

■ トーンの色 (濃度) を拾う

… 「alt」 キーを押しながら [スポイト] ツールにして、トーンの上をクリック

■ 塗りつぶしをする

… 「G」 キーを押して [塗りつぶし] ツールを選択

… 「G」 キーを2回押して [閉領域フィル] ルールを選択

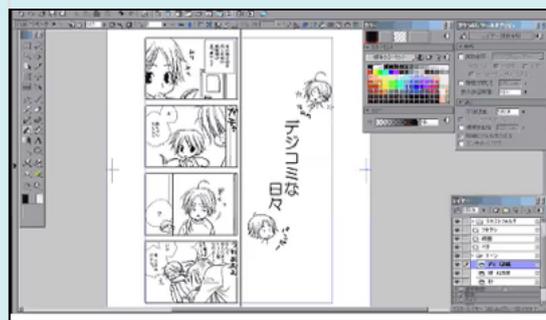
■ 下のレイヤーを選択

- … 「alt」 + 「[(カッコ)]」

■ 上のレイヤーを選択

- … 「alt」 + 「] (カッコ)]」

パレット類にほとんど触れずに、ショートカットのみで作業している様子



トーンワーク後



ここで問題 ?

前回今回と[ラスターレイヤー グレー (8bit)]をトーンワークに使ったでは[ラスターレイヤー グレー (8bit)]でトーンワークするときに適した「解像度」は？
またその理由は？



はい はいっ
150dpi!! 軽いから!!



なかなかいいところをついているね
ちび子くん!!



解答募集!

この講座では、毎回最後に問題を出题します。次回の講座で解説しますので、皆さんもそれまで一緒に答えを考えてみてください。「これはイイ!」という答えが浮かんだ方は、下記の宛先までE-mailで解答をお送りください。

○ 解答送付方法

下記のe-mailアドレスにメールでお送りください。必要であれば画像を添付してください。添付ファイルは5MB程度までお願いいたします。なお、お送りいただいた解答は、講座で紹介させていただく場合がございます。また、その際に、加筆修正をさせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

e-mail アドレス: cs_community@celsys.co.jp

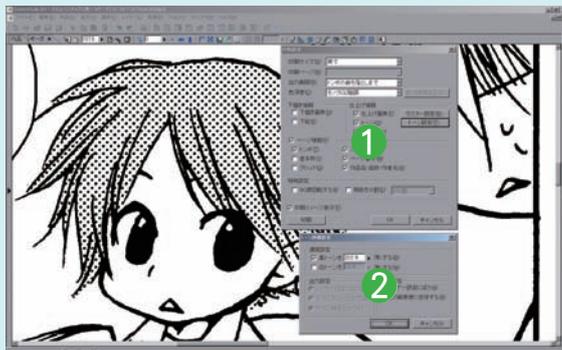
前回の問題と解説 ?

前回出題した問題への読者の皆さまからの解答例とその解説です。

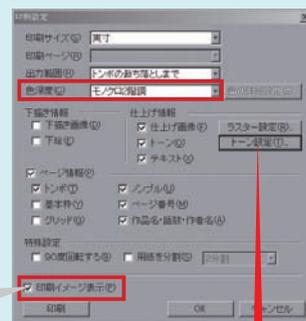
「印刷」や「書き出し」したときにトーンの色を「不透明度」の設定のまま表現する方法を考えてみて!!
※第2回テーマトーンを「不透明度」で設定した濃度で印刷したい より



トーンを“見た目の好みの色”で印刷するには、[印刷設定]の「トーン設定」でトーンの濃度を調整します。

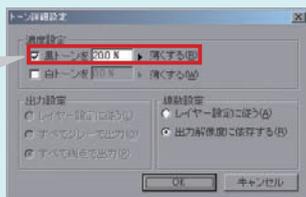


[ファイル]メニュー⇒[印刷設定]を開きます。



①「印刷イメージを表示」= ON にしておきます。

クリック



② 数値を設定すると、貼ってあるトーンの色を変更して印刷できます。

「濃度設定」=なしの場合



「黒トーンを 20.0%薄くする」の場合



「トーン設定」はすべての[トーンレイヤー]に反映するでし



つまり、すべてのトーンを一定の割合で濃く、または薄く印刷したい場合に便利です。



「書き出し」についても同様に作業できます。